

循環器内科

■診療科長 北村 和雄

■研修実施担当者 鬼塚 久充



教育施設として認定を受けている学会

日本内科学会、日本循環器学会、日本心臓病学会、日本不整脈心電学会、日本高血圧学会、日本心血管インターベンション治療学会

診療科の概要

循環器内科では入院・外来患者の診療を行うにあたり、(1) 虚血性心疾患診療(冠動脈インターベンション)、不整脈診療(カテーテルアブレーション、ペースメーカー植え込み術)、心不全の集学的治療、(2) 難治性高血圧症に対する治療、二次性高血圧の精査・治療、(3) 肺循環疾患、成人先天性心疾患に対する薬物治療、慢性血栓性肺高血圧症に対する肺動脈バルーン形成術、深部静脈血栓症に対する診断および治療(4) 心筋疾患に対する診断および治療、急性お

よび慢性心不全に対する集学的治療などを行っています。

どの領域もアクティブに診療活動を行っており、幅広く学ぶことが可能であり、内科専門医・各学会専門医を取得するために必須な疾患を経験することができます。また専門的な循環器病に関する知識のみならず一般内科的な物の考え方も幅広く学ぶことが可能です。経験豊富なスタッフが、あなたの初期研修をサポートします。

研修症例の特徴

循環器内科では虚血性心疾患(急性心筋梗塞、不安定狭心症、安定狭心症)急性および慢性心不全、心筋症(拡張型心筋症、肥大型心筋症、心アミロイドーシス、心サルコイドーシス等)、不整脈疾患(完全房室ブロック、心源性失神、心房細動、心室頻拍、ブルガダ症候群、WPW 症候群、QT 延長症候群、発作性上室性頻拍症)、肺循環疾患(肺動脈性肺高血圧、慢性血栓閉塞性肺高血圧)、弁膜疾患(大動脈弁膜症、相対弁膜症)、成人先天性心疾患が経験できます。特に不整脈疾患、心筋疾患、肺循環疾患の中には大学病院でしか経験できない疾患も多くあります。

研修目標

【一般目標 (G10)】

患者さんに寄り添いながら病歴を系統的に聴取し、全身の理学所見がとれるようになる。また、入院後の検査のすすめ方や治療方針について指導医(上級医)と議論できるようになる。

【個別行動目標 (SB0s)】

- 毎日の回診で担当患者と良好なコミュニケーションがとれ、指導医と情報を共有できるようになる。
- 病歴聴取と身体診察から複数の鑑別診断を挙げられるような臨床推論思考ができるようになる。
- 担当患者の全身状態/バイタルサインから緊急度/重症度を判断できるようになる。

- 鑑別診断について「確定診断」と「除外診断」に必要な初期検査を選択できるようになる。
- 末梢静脈路の確保ならびに動脈穿刺が安全に試行できるようになる。
- 輸液の必要性を判断でき、その際の初期輸液メニューを組むことができるようになる。
- 状況に応じた担当患者の紹介プレゼンテーションができるようになる。
- SOAP に基づいた問題解決型の診療録作成が遅滞なくできるようになる。

研修方略

【指導医および指導体制】

初期研修1年目の先生方は循環器内科に1か月間の研修を準備しております。

2年目の先生方はご希望に応じて1~2ヶ月間の研修を準備しております。1年目、2年目ともに、各グループの指導医（上級医）によるマンツーマンでの指導体制をとっています。

また、毎日17時00分より、その日に入院した患者や重症者ならびに侵襲的な検査や治療手技を施した患者等に関して、当直医、上級医および病棟医長等を交えてカンファレンスを行います。

複数の医師が受け持ち症例に目を通すことにより、医療過誤が防げますし、またカンファレンスは自分の担当症例のみならず、同僚や先輩が受け持つ患者情報を学ぶことが可能な絶好の機会です。カンファレンスを頻回に行うことで、治療方針を細かく変更することができますし、またお互いに情報や医学知識を可能な限り共有することが可能となり、よりよい“チーム医療”を目指しております。

【勉強会やカンファレンスなどの研修教育活動】

- (1) 文献紹介やレビューにて最新の医学研究の動向を知ることができます。
- (2) 「心電図の読み方」などの勉強会を開催しています。
- (3) 各学会での担当症例の発表を通して、“プレゼンの仕方”や“サイエンスとしての医学”を学びます。

【週間スケジュール】

	午前	午後
月	カンファレンス、教授回診、外来診療、 心エコー・心臓核医学検査 心臓カテーテル検査	カンファレンス、心エコーカンファレンス
火	輪読会、心エコー、心臓核医学検査 心臓カテーテル検査、経カテーテル的大動脈弁 植え込み術(TAVI)、肺動脈バルーン形成術(BPA)	心臓カテーテル検査、心臓ペースメーカー植え 込み、経皮的冠動脈形成術(PCI)、カンファレン ス、文献抄読会
水	ハートチームカンファレンス、外来診療、 心エコー・心臓核医学検査、 ペースメーカー外来	心臓カテーテル検査、心臓ペースメーカー植え 込み、経皮的冠動脈形成術(PCI)、 カンファレンス
木	心臓カテーテル検査(アブレーション)、 心エコー・心臓核医学検査	ペースメーカー外来、心臓カテーテル検査(アブ レーション、ペースメーカー植え込み)、 カンファレンス
金	外来診療、心エコー	心臓カテーテル検査

研修評価

- オンライン卒後臨床研修評価システム（EPOC）による研修実施内容の評価（観察記録）

指導医・先輩医師からのメッセージ

循環器内科では急性期から慢性期まで、幅広く症例を経験することができます。心筋疾患や肺循環疾患の中には大学病院でしか経験できない症例も多数あります。また、経験豊富な多数の先輩医師が、研修医の皆さんをしっかりとサポートします。私も先輩たちから、そうやって育ててもらいました。循環器内科の研修期間は、あなたの将来の糧に必ずなると思います。共に勉強し、成長しましょう！！